



表郷中学校だより

令和3年 6月28日(月)

ポ フ ラ

第25号 発行者・文責 校長 菊池 篤志

奉仕作業、ありがとうございました！

6月26日(土)、父母と教師の会環境委員会主催の奉仕作業が行われました。多くの皆様に御参加いただき、ありがとうございました。お陰様で大変きれいになり、子どもたちも素晴らしい環境のもとで活動ができます。心から感謝申し上げます。第2回は、9月4日(土)を予定しております。資源回収も予定しておりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。



開会式の様子



自転車置き場前の除草

生徒の地域ボランティア実施！

上記奉仕作業と同日、同時間に地域ボランティア作業を実施しました。金山地区「ビーライフういち」の前の花壇に「芝桜」を植える作業と、JRバス番沢駅から北側方向にバス車道の両脇に「彼岸花」を植える作業を行いました。ほとんどの生徒が参加し、熱心に取り組んでいました。学校は、地域の皆様に支えられて成り立っています。日頃の感謝の気持ちを込め、地域に貢献するという思いをもって生徒たちは熱心に活動しました。新聞でも取り上げられ、27日(日)の朝刊に掲載されました。

今後も、地域へ貢献し続けていきたいと考えています。



うおいち前の花壇に「芝桜」を植える生徒たち



バス車道の両脇に「彼岸花」を植える生徒たち

全校朝会（6 / 28）

本日、6月28日(月)の全校朝会は、体育館で実施しました。初めに、県南中体連水泳大会で入賞した生徒の4名の表彰(すでに第22号でお知らせしました。)の伝達があり、その後校長の話をしました。生徒たちは、一人一人、力を出し切って頑張ったことや県大会への抱負を述べました。7月15日から3日間実施される県中体連総合大会水泳競技に出場する3名の皆さんには、自分の力を信じて、競技してきてほしいと思います。みんなまで遠くから応援したいと思います。



朝会での校長の話

朝会での校長の話は、新年度が始まって3ヶ月が経ち、4月に立てた目標に向けて継続した取り組みがなされているか考え、残り1ヶ月を充実したものにしていくため、「継続することの大切さ」「積み重ねることの大切さ」について話しました。



私は、中学生のころ、何をやっても続かない男でした。あるとき、自分で決めたことを続けると家族に宣言し、始めたことがありました。3ヶ月経ったある日、学校から疲れて帰った私は、続けると宣言したことを「今日は疲れたから1日休み」と言ってやらなかったことがありました。そのときです。今まであまり怒ったことがない父が私に対して厳しく怒りました。

「この世で一番大切な自分が決めたことを、なぜやらないんだ。続けることが大事なんだ。自分で宣言しといて、なんで続けないんだ。」

そのときは、たぶん、私は、父親の言ったことを理解しようともせず、怒られた悔しさしか考えられなかったと思います。

その後、大人になってから父親の言った「この世で一番大切な自分が決めたことは、続けなければならない。続けることが大事なんだ。」という言葉を読み出すことが多くなり、教師という職業も、何とか今まで続けることができました。

坂村真民という詩人の詩に「つみかさね」というものがありますが、この詩を読むと、「続けることが大事」と叫んだ亡くなった父親のことを思い出します。

ここで、詩を読んで終わりにします。

つみかさね 坂村真民

一球一球のつみかさね

一打一打のつみかさね

一歩一歩のつみかさね

一坐一坐のつみかさね

一作一作のつみかさね

一念一念のつみかさね

つみかさねの上に 咲く花

つみかさねの果てに 熟する実

それは美しく尊く 真の光を放つ